序……1
第一章　明治期における劇評の諸相
第一節　六二連『俳優評判記』と新聞劇評……12
一　六二連『俳優評判記』……12
二　「明治見巧者」への批判……21
三　新たな劇評への対抗……25
第二節　三木竹二の位置……40
第二章　型の記録の成立と展開
第一節　『歌舞伎新報』における筋書……64
第二節　『歌舞伎』における型の記録……77
一　附帳の活字化……78
二　役者の談話形式……85
三　舞台面の描写――視点の変容……90
四　型の記録の時代的背景……93

五　速記と型の記録……104
第三節　型の記録の記述方法における特色……107
一　舞台装置……108
二　衣装……111
三　台詞……113
四　所作……117
第四節　「芝居見たまま」の成立と展開……125
第三章　明治期歌舞伎における戦争物
第一節　出版メディアにみる『皐月晴上野朝風』の興行宣伝と受容……148
第二節　歌舞伎における日清戦争物……175
結……209
付　『歌舞伎』における型の記録記事一覧……216
参考文献……234
あとがき……239
索引